

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所リズム 単位1			
○保護者評価実施期間	2026年2月23日		～	2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～	2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月22日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様が自己決定できるように複数の活動を準備し、活動に合わせて場所を変えることができること。	子どもたちが活動を自分で選択できるように、スイミング・サーキット運動・ICT機器による学習などをそれぞれの場所で職員が行っている。	子どもたちから「やりたい」の意見を聞き取り、活動内容に反映させていく。
2	自法人が運営する学童クラブや高齢者向けデイサービスとの交流イベント、県大会への参加など、法人内外の資源を活用しながら地域に開かれた事業所運営を推進し、様々な人と関わる機会を設けていること。	多くの機関や色々な世代の人と交流し、お子様が多様性を理解し、共感力や柔軟性が育まれるようにしている。	学童クラブや高齢者施設などの交流活動への参加機会をさらに増やし、様々な人との関わりを通して社会性やコミュニケーション力を育めるよう支援の充実を図っていく。
3	お子様や保護者様のニーズや思いに寄り添い、個別支援計画や日々の療育に反映させていること。	利用日の活動の様子を写真や動画などを使い、保護者と情報を共有し、子どもの発達や様子についての理解を深めてもらう工夫をしている。	多くの保護者様と直接顔を合わせる機会を増やし、お子様や保護者様の思いを感じ取ることができるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様と直接顔を合わす機会が少ないこと。	保護者様と顔を合わせる機会として送迎があるが、お子様は早く家に入りたいという気持ちが強かったり、車内に他のお子様を待たせたりと短時間で申し送りになっている。	保護者様やきょうだいが参加できるイベントを開催する。また、帰りはできるだけ事業所にお迎えに来ていただくようにし、事業所でのお子様の様子を見ていただきながら情報共有ができるようにする。
2	親子参加イベントや防災に関する取組を実施しているが、家庭への周知や参加促進が十分ではないこと。	毎月発行する「リズムだより」がお知らせの中心となっており、口頭で説明する機会や保護者へ直接案内する機会が少なくなっている。	アプリでのお知らせだけでなく、送迎時の声かけや掲示物の活用など複数の方法で周知を行い、親子参加イベントや防災に関する取組への関心や参加につなげていく。
3	職員間での情報共有が不十分な場合があること。	勤務日や勤務時間が多様であるため、全員そろっての情報伝達や共有が難しい。	児童発達支援管理責任者を中心に、個別支援計画の内容や日々の子どもの様子などを共有し、職員間で共通理解をもちながら支援できるようにする。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所リズム 単位2			
○保護者評価実施期間	2026年2月23日		～	2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～	2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月22日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様が自己決定できるように複数の活動を準備し、活動に合わせて場所を変えることができること。	子どもたちが活動を自分で選択できるように、スイミング・サーキット運動・ICT機器による学習などをそれぞれの場所で職員が行っている。	子どもたちから「やりたい」の意見を聞き取り、活動内容に反映させていく。
2	自法人が運営する学童クラブや高齢者向けデイサービスとの交流イベント、県大会への参加など、法人内外の資源を活用しながら地域に開かれた事業所運営を推進し、様々な人と関わる機会を設けていること。	多くの機関や色々な世代の人と交流し、お子様が多様性を理解し、共感力や柔軟性が育まれるようにしている。	学童クラブや高齢者施設などの交流活動への参加機会をさらに増やし、様々な人との関わりを通して社会性やコミュニケーション力を育めるよう支援の充実を図っていく。
3	お子様や保護者様のニーズや思いに寄り添い、個別支援計画や日々の療育に反映させていること。	利用日の活動の様子を写真や動画などを使い、保護者と情報を共有し、子どもの発達や様子についての理解を深めてもらう工夫をしている。	多くの保護者様と直接顔を合わせる機会を増やし、お子様や保護者様の思いを感じ取ることができるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様と直接顔を合わす機会が少ないこと。	保護者様と顔を合わせる機会として送迎があるが、お子様は早く家に入りたいという気持ちが強かったり、車内に他のお子様を待たせたりと短時間で申し送りになっている。	保護者様やきょうだいが参加できるイベントを開催する。また、帰りはできるだけ事業所にお迎えに来ていただくようにし、事業所でのお子様の様子を見ていただきながら情報共有ができるようにする。
2	親子参加イベントや防災に関する取組を実施しているが、家庭への周知や参加促進が十分ではないこと。	毎月発行する「リズムだより」がお知らせの中心となっており、口頭で説明する機会や保護者へ直接案内する機会が少なくなっている。	アプリでのお知らせだけでなく、送迎時の声かけや掲示物の活用など複数の方法で周知を行い、親子参加イベントや防災に関する取組への関心や参加につなげていく。
3	職員間での情報共有が不十分な場合があること。	勤務日や勤務時間が多様であるため、全員そろっての情報伝達や共有が難しい。	児童発達支援管理責任者を中心に、個別支援計画の内容や日々の子どもの様子を共有し、職員間で共通理解をもちながら支援できるようにする。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2026（令和8）年5月29日

事業所名：多機能型事業所リズム 単位1

対象人数（保護者）22人 回答者数9人 回収40.9%

	チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9				指導訓練室だけでなく、敷地内にある学習室、スイミングスクール、児童クラブVI-VAや中庭、エントランスホールなどいろいろな場所で活動や遊びができるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	2		2	多様な活動に目が届く支援を行うために、基準よりも多く人員を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	2			歩行に支援が必要なお子様には、必ず職員が随伴し安全に移動できるようにしています。また、サービス側にはエレベーターを設置していますので、そちらを利用することもあります。室内は、床の色や仕切りネットを使い遊ぶ場所・活動場所が視覚的にわかりやすいように工夫しています。段差がないようにスロープにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9				こまめな清掃を行っています。子どもたちが使ったおもちゃなども、定期的に消毒を行っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9				法人内だけでなく社外とも連携した研修を実施し、職員の専門性を高めています。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9				支援プログラムに基づいて活動を行っています。支援プログラムはホームページにて公表しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	9				フェイスシートや面談、担当者会議などでニーズを把握・分析し、発達に応じた課題の計画を立てるようにしています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			1	ご家族やご本人の思いを基にガイドラインに則った、具体的な支援内容を設定しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9				お子様一人ひとりに応じた支援を大切にしています。
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9				体を動かす活動・座って行う活動を組みあわせて一日を過ごしています。体を動かす活動では、楽しみながらできるように、音楽を流し雰囲気盛り上げることもあります。
保護者への説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8			1	児童クラブVI-VAと運動会を開催しました。ハロウィンや節分なども合同イベントを開催し、交流をしています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9				契約時に読み合わせをして確認をしています。ご不明点につきましては、いつでもお問い合わせください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9				保護者様とのアセスメントやモニタリングでの情報共有を基に計画を作成し、HUG上で確認していただいております。変更点や修正などその都度承っています。対面での説明をご希望の場合には、ご連絡ください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1			9月に作業療法士による「あそびと日常生活」の学習会を開催しました。今後も、テーマを変えながら研修会を実施します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8			1	HUGや電話等でお子様の様子について共通理解を図っています。それだけでなく、直接お会いしてお話する機会を増やそうに心がけています。保護者様の思いに寄り添っていけるように努めてまいります。ご心配な事・ご相談したい事がありましたらお気軽にお知らせください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1			お子様一人ひとりを大切に支援を心がけていきます。
非常時等の対応	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9				9月「保護者会」を開催しました。9月「親子バーベキュー」、10月「ハイキング」、2月「運動会」を開催し、多くの保護者様やきょうだい様にご参加いただきました。今後も保護者同士で交流できる環境作りを進めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5			4	管理者が迅速に対応できるように連絡体制を整えています。些細なことでも気になることがありましたら、どうぞご連絡ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			1	HUG・電話・送迎や来所でのお迎えなど様々な方法で情報共有するようにしています。また、お子様の活動の様子やリズムでの表情を写真や動画などでお伝えしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9				HUGでのリズムだよりを通して、活動やお子様の様子をお伝えするようにしています。ホームページにも、活動の様子を掲載しております。インスタグラムもぜひご覧ください。自己評価の結果は、ホームページに掲載しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9				鍵付き書庫に個人情報を保管し、取り扱いの注意を全職員が徹底するようにしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8			1	各マニュアルを策定し、警察の方にご協力・ご指導いただき不審者対応訓練を全職員で行いました。救急救命訓練は、プール活動中を想定した研修を行いました。保護者様には、「災害・緊急時の対応」を配布しています。
満足度	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			2	防災週間を設定し、紙芝居や動画で学んだ後、実際に避難する活動を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			2	お子様の安全を第一に考え、支援をしています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			1	迅速かつ適切に対応するようにしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			1	
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9				お子様一人ひとりの「安心して楽しめる場所」となるように、職員一丸となり今後取り組んでまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	1			リズムの活動にご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がその部屋で何をやるのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通して、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2026（令和8）年5月29日

事業所名：多機能型事業所リズム 単位 2

対象人数（保護者）19人 回答者数 15人 回収 79%

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	15					指導訓練室だけでなく、敷地内にある学習室、スイミングスクール、学童クラブVI-VAや中庭、エントランスホールなどいろいろな場所で活動や遊びができるようにしています。
	2	13			2		多様な活動に目が届くように支援を行うために、基準よりも多く人員を配置しています。
	3	13	1		1		歩行に支援が必要なお子様には、必ず職員が随伴し安全に移動できるようにしています。また、デイサービス側にエレベーターを設置していますので、そちらを利用することもあります。室内は、床の色や仕切りネットを使い遊ぶ場所・活動場所が視覚的にわかりやすいように工夫しています。段差がないようにスロープにしています。
	4	15					こまめな清掃を行っています。子どもたちが使ったおもちゃなども、定期的に消毒を行っています。
適切な支援の提供	5	15					法人内だけでなく社外と連携した研修を実施し、職員の専門性を高めています。
	6	14			1		支援プログラムに基づいて活動を行っています。支援プログラムはホームページにて公表しています。
	7	15					フェイスシートや面談、担当者会議などでニーズを把握・分析し、発達に応じた課題の計画を立てるようにしています。
	8	14			1		ガイドラインに則って、お子様が楽しみながら活動できるように工夫しています。これからも具体的な支援内容を設定していきます。
	9	14	1				お子様一人ひとりに応じた支援を大切にしています。
	10	15				サッカーできないけどサッカーの選手がいたり、三味線披露してくれる職員の方がいたり、元タスマシングが強みだったりするので飽きにくいと思います。本人も楽しく利用出来ています。	楽しみながら活動できるように、ゲーム要素を取り入れるなどを工夫しています。
	11	9	2		4	学童さんや、他事業所との合同活動などおこなっていたり、高齢者向け福祉施設との交流があり貴重な体験ができています。個別に、他の子どもと関わる事は求めてないけど、他事業所よりは、一般的な学童とすれ違ったりするのでおもしろいと思います。個人的に、さすが南風原町だなと思います。	学童クラブVI-VAと運動会を開催しました。ハロウィンや節分なども合同イベントを開催し、交流をしています。地域の保育園さんと一緒にお正月遊びも行いました。
保護者への説明等	12	15					契約時に読み合わせをして確認をしています。ご不明点につきましては、いつでもお問い合わせください。
	13	14	1				保護者様とのアセスメントやモニタリングでの情報共有を基に計画書を作成し、HUG上で確認していただいております。変更点や修正などその都度承っています。対面での説明をご希望の場合は、ご連絡ください。
	14	11	1		3		9月に作業療法士による「あそびと日常生活」の学習会を開催しました。今後も、テーマを変えながら研修会を実施します。
	15	15					HUGや電話等でお子様の様子について共通理解を図っています。それだけでなく、直接お会いしてお話する機会を増やすように心がけています。保護者様の思いに寄り添っていただけるように努めてまいります。ご心配な事・ご相談したい事がありましたらお気軽にお知らせください。
	16	14	1			小さな変化でも連絡してくれるし、家庭での悩み困り感を親身になって聞いてくれて、すぐ出来る支援方法をアドバイスしてくれたりデイサービスでも実践してもらえて嬉しい。	お子様一人ひとりを大切に支援を心がけていきます。
	17	15				関わる全て職員の対応が最高です。ドライバーさんも車内での出来事を、きちんと報告してくれて助かります。	
	18	13			2		9月「保護者会」を開催しました。9月「親子バーベキュー」、10月「ハイキング」、2月「運動会」を開催し、多くの保護者様やきょうだい様にご参加いただきました。今後も保護者同士で交流できる環境作りを進めていきます。
	19	14	1				管理者が迅速に対応できるように連絡体制を整えています。些細なことでも気になることがありましたら、どうぞご連絡ください。
	20	15				子供に聞かれたくない事や見られたくない内容などもあったりするが、ICT活用で配慮されていると感じる。	HUG・電話・送迎や来所でのお迎え時など様々な方法で情報共有するようにしています。
	21	15					HUGでのリズムだよりを通して、活動やお子様の様子をお伝えするようにしています。ホームページにも、活動の様子を掲載しております。Instagramもぜひご覧ください。自己評価の結果は、ホームページに掲載しています。
	22	15					鍵付き書庫に個人情報を保管し、取り扱いの注意を全職員が徹底するようにしています。
非常時等の対応	23	12	2		1		各マニュアルを策定し、警察の方に協力・ご指導いただき不審者対応訓練を全職員で行いました。救急救命訓練は、プール活動中を想定した研修を行いました。保護者様には、「災害・緊急時の対応」を配布しています。
	24	11	1		3		防災週間を設定し、紙芝居や動画で学んだ後、実際に避難する活動を行っています。
	25	13	2				お子様の安全を第一に考え、支援をしています。
	26	12	2		1		迅速かつ適切に対応するようにしています。
満足度	27	15				学校への行き渋りはあるが、リズムお休みする～とは言わずに利用できている。	お子様一人ひとりの“安心して楽しめる場所”となるように、職員一丸となり今後も取り組んでまいります。
	28	14	1			「明日はプール」と言いながらも準備はしないが活動を楽しみにしています。	
	29	15				大満足です。	今後も支援の質を高め、満足度が上がるよう取り組んでまいります。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上で留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえたことへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所リズム 単位1 (放課後等デイサービス)		公表日		2026 (令和8) 年 5月29日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・運動スペースとおもちゃで遊ぶスペースを分けている。 ・施設内の学習室などを使用し、個別化を図っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・毎日清掃している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0		・個別で対応できる部屋があるとよい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	7	1		・よくわからない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		・よくわからない
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・ミーティングで意見等を聞く。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		・よくわからない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・学ぶ機会がある。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・ニーズや課題を分析し、計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・職員間で情報共有し、連携して作成を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・ミーティングで共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		・よくわからない
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1		・よくわからない
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・サーキット、プール、まーべる等子どもが選べる活動が充実している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・送迎前のミーティングにて、毎日支援方針について話し合っている。 ・送迎や活動など担当をミーティングで確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・日報作成時に話し合い、些細なことでも記録している。	・できない場合は、次の日のミーティングで行う。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0			
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	・基本活動を複数組み合わせ、子どもの自己決定を促しながら支援を行っている。		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育むための支援を行っているか。	8	0	・活動や遊びを選択できる。		
関係機	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・担当者が参加している。	
	27	地域の保健、医療 (主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有 (年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡) を適切に行っているか。	8	0		・送迎時間の情報共有ツールが学校ごとに異なっているので、対応に苦慮している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	・保護者、幼稚園等と連携し、情報共有ができています。	

関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	・学童、保育園、他デイサービスと定期的に交流を行っている。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・面談や申し送り等で支援方法を伝えたり、情報提供を行っている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約の際に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8	0	・父母参加の行事等を行い、交流の場を作っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	・高齢者との交流を図っている。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・各委員会を設置し、適切に研修等を行なっている。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・情報を共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・定期的に研修を行っている。 ・研修を行い、職員間で話し合っている。 ・年2回の研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	・開かれた支援を徹底して行っている。		

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所リズム 単位2 (放課後等デイサービス)		公表日		2026 (令和8) 年 5月29日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・活動の分散化をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・活動部屋には、使わない物を出さないようにしている。	・冷蔵庫の位置を見直したい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・手洗い、うがいを徹底させている。 ・毎日、アルコール等で消毒して掃除。 ・週末には、おもちゃの消毒作業。 ・プレイマットは、その都度消毒をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・メンバー、人数を見て分けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	9	0	・毎日、子どもたちが来所前にミーティングをする。 ・子どもたちが帰ったあとに、振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		・わからない
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・職場の雰囲気 (意見を言いやすい) 作りを上長の立場の方が取り組んでくれている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	・ホームページとパンフレットにて公表。	・わからない
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・フェイスシート (事業所独自のもの) を使用。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・毎月ミーティングを設けている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・社員間での伝達が迅速である。	・パートの方達への伝達が日々の業務や出勤日程の関係で時差がある時がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		・わからない
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1		・わからない
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・活動する前に職員でミーティング。上手く支援ができるように意見を出し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・後日職員で振り返り、共有して改善につなげる仕組みができている。 ・気になったことは、その都度ホワイトボードに記入し、後で日報に記録している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・細かく児童の状況を把握して、支援の内容を考慮し、共有してくれる。	活動の時間に保護者との話し合いが入ってしまうと現場の負担が大きくなる時がある。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療 (主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	28	学校との情報共有 (年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡) を適切に行っているか。	9	0		

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	3		・わからない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	・学童クラブVI-VAとの交流を行っている。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2		・わからない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・保護者との状況確認を行っている。 ・HUGを利用して、日々の状況を伝えながら家族との連携をしっかりとっている。 ・LINE、HUG、TELにて。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・契約時、変更時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	・年に1回は交流できるようなイベントを計画している。	・わからない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・SNS等に掲載の際は、顔が認識できないようにスタンプを利用して隠している。 ・鍵付き書庫に保管。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	・地域の保育園さんを招いて交流会をしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・職員のみ、子どもたちと訓練を年2回行っている。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1		・医師の指示書に基づいているのかわからない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		・家族等へ周知できているのかわからない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・ヒヤリハットの情報をしっかり共有している。 ・毎日、日報に記録している。 ・毎月のヒヤリハットを共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0			